

飯垣会長「FONASBA 総会の成功へ」

■ JAFSA、今秋に東京で開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は19日、都内で第38回通常総会を開催し、2026年度の活動計画や予算案などについて承認した。総会で飯垣隆三会長は、「中東での紛争やホルムズ海峡封鎖などにより、ここ数週間で世界情勢が一変した。われわれの仕事の環境も激変する可能性があり、今後も状況を注視していかなければいけない」と述べた。今年10月にはJAFSAの上部団体となる国際海運代理店世界連合（FONASBA）が世界総会を東京で開催する。飯垣会長は「05年に日本で開催された世界総会でも良い評価をいただいた。事務局としてできる限りの努力を行うとともに、会員各社にも世界総会の成功のため、協力いただきたい」と呼び掛けた。

JAFSAの26年度の活動計画は、「会員増強のさらなる推進」「FONASBAとの連携による国際活動の推進」「地方港湾代理店の新規会員勧誘を含めた地方の活性化」を柱とし

て挙げた。

会員増強に向けた取り組みでは、事務局の積極的な会員勧誘活動の結果、25年度は正会員・賛助会員が新規に3社入会した。25年末のJAFSAの会員総数は計115社・団体となっている。飯垣会長は、「会員増強に向け、魅力ある活動を行っていききたい。セミナーを魅力的なものにするため、著名な先生を招き、時代にマッチした講演を実施する」と話した。東京以外の地方でも積極的にセミナーを実施しており、昨年は静岡県清水で開催した。26年度も会員増強に注力する考えで、引き続き地方セミナーも行い、新規の会員獲得につなげていきたい考えだ。

国際活動については昨年10月、トルコ・イスタンブールで開催されたFONASBAの総会に出席した。セミナーでは業界の人材不足、若手従業者離職対策についてのパネルディスカッションなどが行われ



あいさつする飯垣隆三会長

た。今年は東京で年次総会が開催される予定。

東京総会の最終日には「日本の文化」「トランプタリフについて」をテーマにした講演も予定している。

このほか、JAFSAの活動方針として、女性の活躍推進を図っていくほか、FONASBAの認証制度であるFONASBAクオリティスタンダード（FQS）の取得を積極的に促していく。現在、日本では16社が取得しており、今年度はノルディックエージェンシーズが新たに取得した。

JAFSA

外航船舶代理店業協会（JAFSA、飯垣隆三会長）は19日、東京都内で第38回通常総会を開き、2026年度の活動計画案や予算案などを承認した。飯垣会長は足元の中東情勢について、「われわれの仕事の環境が激変する可能性がある。注視しなければならぬ」と述べ、ホルムズ海峡封鎖を含む地政学リスクに警戒感を示した。10月には、都内で開かれる国際海運代理店世界連合「FONASBA（フォナサバ）」の年次総会を運営する。

飯垣会長は総会後の記者会見で、「中東戦争は全く予想していなかった」と説明。このまま情勢が長引けば海運関連業界への影

飯垣会長「中東情勢注視」

響は避けられないとの認識を示した。一方で、「荷動きはまだ落ちている」とし、「何とかこのまま乗り切っていければ」と語った。

25年度末の会員数は、正会員74社、支店会員25社、賛助会員16社の計115社・団体。25年度は正会員3社が新規加入した。加入を検討している企業も数社あるとし、引き続き会員増強に力を入れる考え。著名な講師を招いた魅力あるセミナーの開催などを通じ、協会活動の魅力向上を図る。

活動計画では、会員増強に加え、地方創生を踏まえた地方港湾代理店の活性化、FONASBAとの連携による国際活動の推進、女性

10月都内でFONASBA年次総会

活躍の促進を柱に掲げた。5月に実務者セミナー、7月に夏季セミナー・懇親会、11月に地方セミナー・懇親会を予定する。地方セミナーについて飯垣会長は、地方会員の拡大にもつなげたい考えを示した。

国際活動では、今年10月11-15日に東京でFONASBAの年次総会を開き、JAFSAがホスト国として運営に当たる。飯垣会長は日本開催の意義について、「JAFSAのイメージやレピュテーション、ステータスを海運業界で向上させていきたい」と語った。

05年以來の日本開催で、前回開催が高い評価を得たことも再招致につながったという。

業 界 団 体

JAFSAが第38回通常総会を開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）の第38回総会が3月19日に都内のホテルで開催され、2025年度の活動報告と26年度の活動計画の承認などが行われた。



総会では、飯垣隆三会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長、写真）が、「26年度は会員の増強、国の地方創生政策に鑑み、地方創生を応援するという方針のもと、地方セミナーに力を入れることを柱に、本協会が加盟するFONASBA（国際海運代理店世界連合）と連携した国際活動の推進のほか、女性の活躍を進めていく」との方針を述べた。

JAFSAの会員数については、25年度末の会員総数が前年度から3社増え、計115社・団体となった。

会員数の増加について飯垣会長は「我々の活動が業界において評価されている成果だ。今期も引き続き会員増強のさらなる推進を図っていく」としている。

総会後の記者会見では、ことし10月に日本で開催予定のFONASBA年次総会について触れ、「20年ぶりの日本開催になるので、この機会にJAFSAの国際的な評価やステータスを向上させていきたいと考えている。事務局や理事、会員企業と協力しながら成功させたい」と意欲を語った。さらに、「女性の活躍を推進することが世界的にも常識だと思うが、日本は少し遅れていると感じる。女性が活躍できる場をもっと考えていくような方向になるべきではないか」と、業界全体でより女性の活躍を推進していくことを呼びかけていくことが必要だとした。

JAFSA、第38回通常総会で26年度活動計画 飯垣会長「FONASBA日本総会で業界評価の向上へ」

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は19日、都内で第38回通常総会を開催、2025年度の活動報告と2026年度の活動計画案を発表し、総会で承認した。

総会后、記者会見したJAFSAの飯垣隆三会長は「2026年は明るくなると展望していたが、ここ数週間の中東での戦争が世界の海事関連産業にどのような影響を及ぼすか、足元では荷動きの減少や船の動きが目立った影響は出ていないが、長引いた場合にはその影響を見定める必要がある」と述べた。また代理店業界では、今



年は洋上風力発電の見直しに伴いオフショア事業などへの影響が予想されるが、定期船・不定期船は堅調と見通した。

また、飯垣会長は今年10月に日本で開催予定の世界海運代理店業協会連盟（FONASBA）2026年年度次総会について触れ、「20年ぶりの日本開催となり、前回は好評を博した。JAFSAは外国とのビジネスを手がけている業界で、今年の日本開催は業界の一層の国際化に寄与し、JAFSAの国際的な評価と経験値、ステータスを向上させるものとなる。事務局と理事や会員企業の助力を得て成功させたい」とその意義を語った。

さらに「FONASBAは元々欧州型の運営をする組織で、我々アジア地域の団体とは文化的な差異が大き

いが、国際化のためにそれを克服していきたい」と抱負を述べ、その一歩として業界全体でいっそうの女性活躍を推進していくことを呼びかけた。

さらに、会員の増強に向けて今年も東京や地方で魅力的なセミナー活動を継続する方針を示し、「昨年清水港で開催したセミナーは、港湾の美観についてPRするもので好評だった。今年も地方創生に寄与するテーマを検討している」とし、飯垣会長は「あくまで私見」と前置きしつつ「北海道にも魅力的な港湾がたくさんあり、そこで開催するのも良いと考えている。今後理事会で意見を集約して決めたい」と述べた。



あいさつする飯垣隆三会長

飯垣会長「FONASBA総会の成功へ」

■ JAFSA、今秋に東京で開催

外航船舶代理店業協会(JAFSA)は19日、都内で第38回通常総会を開催し、2026年度の活動計画や予算案などについて承認した。総会で飯垣隆三会長は、「中東での紛争やホルムズ海峡封鎖などにより、ここ数週間で世界情勢が一変した。われわれの仕事の環境も激変する可能性があり、今後も状況を注視していかなければいけない」と述べた。今年10月にはJAFSAの上部団体となる国際海運代理店世界連合(FONASBA)が世界総会を東京で開催する。飯垣会長は「05年に日本で開催された世界総会でも良い評価をいただいた。事務局としてできる限りの努力を行うとともに、会員各社にも世界総会の成功のため、協力いただきたい」

と呼び掛けた。

JAFSAの26年度の活動計画は、「会員増強のさらなる推進」「FONASBAとの連携による国際活動の推進」「地方港湾代理店の新規会員勧誘を含めた地方の活性化」を柱として挙げた。

会員増強に向けた取り組みでは、事務局の積極的な会員勧誘活動の結果、25年度は正会員・賛助会員が新規に3社入会した。25年末のJAFSAの会員総数は計115社・団体となっている。飯垣会長は、「会員増強に向け、魅力ある活動を行っていきたい。セミナーを魅力的なものにするため、著名な先生を招き、時代にマッチした講演を実施する」と話した。東京以外の地方でも積極的にセミナーを実施しており、昨年は静岡県清水で開催した。26年度も会員増強に

注力する考えで、引き続き地方セミナーも行い、新規の会員獲得につなげていきたい考えだ。

国際活動については昨年10月、トルコ・イスタンブールで開催されたFONASBAの総会に出席した。セミナーでは業界の人材不足、若手従業者離職対策についてのパネルディスカッションなどが行われた。今年度は東京で年次総会が開催される予定。

東京総会の最終日には「日本の文化」「トランプタリフについて」をテーマにした講演も予定している。

このほか、JAFSAの活動方針として、女性の活躍推進を図っていくほか、FONASBAの認証制度であるFONASBAクオリティスタンダード(FQS)の取得を積極的に促している。現在、日本では16社が取得しており、今年度はノルディックエージェンシーズが新たに取得した。